

東京防災隣組について

東京防災隣組とは、東日本大震災を受けて東京都が作成した「東京都防災対応指針」にて発表された制度で、都内で先進的な防災活動を行なっている自主防災組織を「東京防災隣組」として認定して広く紹介することにより、他地域において更なる取組を促し、新たな防災活動を誘発していくことを目的としています。

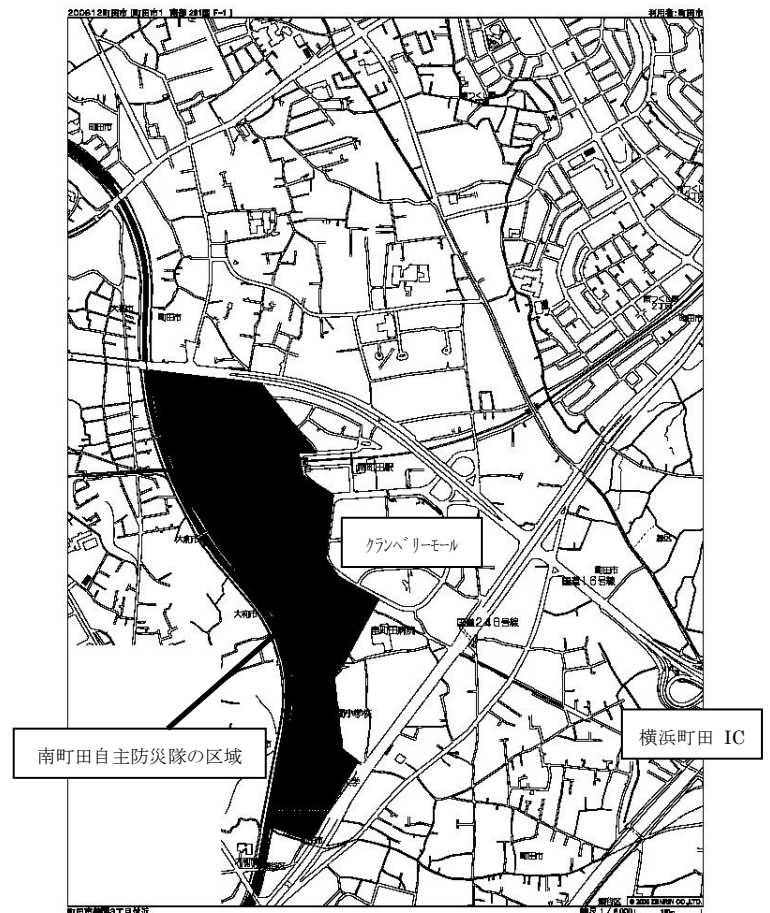
第一回となる今回の認定では、町田市鶴間地域の自主防災組織である「南町田自主防災組織」の他、都内35団体が認定されました。

南町田自主防災組織の活動

南町田自主防災組織は、新潟県中越地震を契機に地域組織である「南町田自治会」が母体となり、地域の防災対策の充実化を図るために2006年6月に設立。大震災や風水害被害の発生を想定し地域防災活動へ取組んでいます。

<主な取組事例>

- 1 自治会員の枠を超えた自主防災組織への会員構成
- 2 区域内の被害総定を考慮した食料等の備蓄。
- 3 区域内の住民を対象とした防災マニュアルの作成。
- 4 黄色い旗を使用した災害時における安否確認方法の整備
- 5 区域内の小学校と連携した避難所の開設・運営に係るマニュアルの整備及び年複数回の連絡会の実施
- 6 水害時を想定した行動マニュアル及び区域内の高低差等を記した洪水時の避難適時の目安となるマップの作成
- 7 自治会とは独立した会計制度（会費徴収・会計報告 等）



認定式の実施

今回の認定に伴い、以下のとおり認定式が実施されました。

日時 2012年4月15日（日）午後1時30分～午後3時30分

会場 東京都都議会議事堂1階 都民ホール

認定式では、代表団体の事例報告として南町田自主防災隊による報告が行なわれました。（他1団体）